

あわら 市議会だより



第39号

平成26年1月15日 発行



Contents

12月定例会報告	2p
議会報告会	3p
委員会報告	5p
一般質問	10p
議案と結果	14p
請願・意見書	15p
ふるさと探訪	16p

農産物直売所「^{ふわり}風羽里」から見た日の出です。

今年、「夢ぐるま公園」及びアクセス道路が整備されます。市民の皆様も、ぜひ巨大な風車や風羽里からの絶景を自分の目でお楽しみ下さい。

住所 あわら市北潟267-264



議会がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

議会報告会

10月に開催した議会報告会では、市民の皆様にご多くの貴重なご意見をいただきました。その時にいただいた質問・要望について、市に対して回答を求めましたので、その結果を掲載します。

●防災無線が家の中で聞こえない。万が一の場合、本場に機能するの心配である。何らかの対策が必要ではないのか。

【総務課所管】

「回答」防災行政無線は、屋外に設置されているため、風向きや降雨などの気象条件に左右されやすく、放送内容が聞き取りにくいことがあります。このため、平成25年10月15日から防災行政無線で放送した内容を電話で聞ける災害情報テレホンサービス(TEL0180-999-7000)を開始していますので、無線放送が聞き取りにくかった場合は、こちらをご利用ください。

また、防災行政無線で放送した内容を携帯電話、スマートフォンにメール配信する「防災メール」のサービスも行って



足湯の完成予想図

いますので、ぜひ、登録をお願いします。

登録方法は毎月の広報紙に掲載しています。加えて、市では、NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、KDDIと契約しており、緊急地震速報、避難勧告など緊急かつ重要な情報は、各自の登録の有無に関係なく、市内に滞在している全ての方々の携帯電話、スマートフォンに一斉に情報が配信されます。

●湯のまち広場に足湯を整備するが、その維持管理費の算出は出来ているのか。

【政策課所管】

「回答」足湯の整備では、全ての照明をLEDにするなど、省エネを意識した施設としていますが、その維持管理経費は消費電力量や使用水量等が定まっていないことから、現時点で正確な費用を算出することはできません。

●一向一揆資料館(仮称)は観光客の誘客に効果があるのか。また、敷地が狭いのではないのか。駐車場は確保できるのか。

【観光商工課所管】

「回答」この事業は、隣接する加賀市と広域連携して、団塊の世代をターゲットにした誘客を図る事業であり、石川県に跨るこの周辺一帯を周遊ルートとして一体的な整備を行います。

敷地や駐車場スペースについては、周辺一帯の回遊性を高める観点から他の施設との連携を考慮して計画しています。

●図書館の閉館時間だが、以前は6時30分だったのに、6時閉館となり利用しにくい。元に戻してほしい。

【文化学習課所管】

「回答」図書館の利用時間については、今年7月に現行の「午前10時から午後6時30分」を「午前9時30分から午後6時まで」と30分早めたもの

●越前加賀宗教文化街道環境整備事業の予算の在り方。また、新加賀市長が誕生したが、計画どおり事業が進むのか。

【回答】この事業は、本年度から平成27年度までの3カ年で実施します。また、加賀市との関係については、新加賀市長にも事業内容を理解していただいております。連携しながら計画どおり事業を進めることになっていきます。

12月定例会

平成25年度一般会計補正予算(第3号)

5億8,425万8千円を増額

議会報告会(細呂木公民館10月28日)



- 平成24年度各会計の決算を認定
- 一般会計予算総額は132億100万円に
- 「セントピアあわら」指定管理者、(株)コーワに決定
- 人権擁護委員 有馬ひとみ氏、下家茂氏の推薦に同意

平成25年12月定例会が12月3日から19日までの会期で開催されました。今定例会では、9月定例会で決算審査特別委員会に付託された平成24年度の各会計決算の認定に関する10議案を認定しました。そして、専決処分の報告に関する3議案、平成25年度補正予算に関する8議案、条例の制定・改正に関する3議案、指定管理者の指定に関する1議案、人事に関する2議案の計17議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は6名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、請願1件を採択、4件を不採択とし、議員発議により意見書1件を可決しました。

新年のごあいさつ

議長 笹原 幸信

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、穏やかな新春を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

日頃は市政に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、早いもので本年3月1日に合併10年が経過します。合併時約3万2千人であった人口が、現在では3万人を割り込み、2千人以上減少しています。少子高齢化の流れは益々加速し、今後の市政運営や地域社会に少なからず影響が出て来ると予想されます。

我々議会は、こうした先行き不透明な時代にこそ、市民目線に立った行政運営が何より重要と考え、市民の皆さまのご要望を的確に把握するとともに、健全財政の堅持に努め、安定した市民生活を確保してまいりたいと考えております。

今年1年の皆さまのご多幸とご健康を祈念申し上げ、謹んで年頭のごあいさつといたします。



市への要望

■総務課

赤道（法定外公共物）を区道にしてほしいと言われたが、補助も出ないと言つ。区道の除雪等は、赤道を管理している区に対して、補助金は出してもいいのではないか。何故なら、700戸ある区だが、区費収入は420戸しかない。区に対して理解のない人が増えているので、その辺を考慮してほしい。行政は、区長の大変さを解っていない。

■農林水産課

イノシシの固定柵はありがたいが、現状の柵は強度、材質が弱い。今後整備する場合は、もっと考慮すべきである。

議会への提言

■市役所職員の給料を下げるのなら、市議会議員の報酬や定員削減も行うべき。

■議員の視察は観光振興に役立っているのか。

■議会が抜き取り検査を実施してどうか。議会は行政をチェックすべきで、無駄を見つけてほしい。

■議会がプロジェクトチームを作り計画を立て、市に提案してはどうか。新幹線関係まちづくりなど。

■一般質問だが、10名行う場合は、2日に分けて実施してはどうか。

■ベテラン議員も含め、全員が一般質問を行うべきである。

■観光商工課

プロモーションビデオ作成や美食フェアなど、あわら市の情報発信は大切で理解できるので、もっと積極的に行ってほしい。

■プロモーションビデオは、足湯や観光施設だけの放映ではなく、各地区の公民館や区民館、各区のイベントなどにも放映するべきだ。

■建設課

■まちづくりを進める中で、電気自動車のスタンドを設置する考えはないのか。（観光地として温泉街の整備）

■総務課

赤道（法定外公共物）を区道にしてほしいと言われたが、補助も出ないと言つ。区道の除雪等は、赤道を管理している区に対して、補助金は出してもいいのではないか。何故なら、700戸ある区だが、区費収入は420戸しかない。区に対して理解のない人が増えているので、その辺を考慮してほしい。行政は、区長の大変さを解っていない。

■財政課

■税金をあげる政策については何もないので、例えば、学校の屋上に太陽パネルを設置し、せめて学校の電気料だけでもカバーできるようにしてほしい。

■観光商工課

プロモーションビデオ作成や美食フェアなど、あわら市の情報発信は大切で理解できるので、もっと積極的に行ってほしい。

■プロモーションビデオは、足湯や観光施設だけの放映ではなく、各地区の公民館や区民館、各区のイベントなどにも放映するべきだ。

■建設課

■まちづくりを進める中で、電気自動車のスタンドを設置する考えはないのか。（観光地として温泉街の整備）

■《回答》議会に対する意見・提言については、真摯に受け止め、今後の議会運営に参考にさせていただきます。



金津図書館があるIKOSSA

です。変更理由としては、過去の実績から1時間当たりの来館者は午前中が最も多いこと。さらには、金津図書館において、11月から3月までの5カ月間の午後6時から閉館までの来館者数を調査したところ、1日当たりでは1人で、冬期間での調査ですが、午後6時以降の来館者はほとんどいないとの結果からです。

また、芦原図書館も金津図書館同様に、午後6時から閉館までの来館者は少ない状況で、利用者のからの開館時間を早めてほしいとの要望も多くあることから、

できるだけ多くの皆様にご利用いただけるように利用時間を変更させていただきます。

なお、県内図書館の開館時間は、午前9時、午前9時30分、午前10時から、また、閉館時間は最短で午後5時、最長では午後9時までと自治体によって様々な状況です。

総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成25年度一般会計補正予算

■総務課

防犯灯設置事業 補助金100万円 追加

委員 毎回補正予算を計上しているが、今年度はこれで終了するののか。

理事者 いくつかの区から予定があると聞いているが、大規模な整備は、来年度当初予算で対応したい。

■監理課

こども園敷地購入費 5千900万円

委員 市役所西側にある(株)SHINDO金津工場跡地を取得し、平成27年度開園予定のこども園に土地を貸すとのことだ

が、こども園の運営法人から借地料を徴収するの

理事者 5年間は無料とするが、その後は借地料を徴収する。



移転する(株)SHINDO金津工場

■財政課

地域の元気臨時交付基金積立金1億5千969万3千円

委員 地域の元気臨時交付金は整備中の足湯や夢ぐるま公園の財源となるのか。

理事者 交付金は4億869万3千円交付される

が、このうち2億4千900万円を今年度の投資的経費に充当し、残金は翌年度の投資的経費の財源とするため基金に積むこととする。

一方、足湯や夢ぐるま公園は、平成24年度の補正予算債を充当している

ので、今回の交付金は充当しない。

■教育総務課

9小学校の屋内運動場天井等点検委託料310万円

委員 地震はいつ発生するかわからない。波松小学校と金津小学校の両体育館は拠点避難所になっており、つり天井撤去を早急に実施すべきではないか。

理事者 今年度の3月補正に計上するよう検討し

■文化学習課

本荘公民館改築事業 1千684万2千円

委員 旧JA倉庫を先に改修し、公民館の代替施設が必要ないようにできないか。

理事者 平成26年度中の完成を目指す時間的に厳しく、公民館の改築工事と旧JA倉庫の改修工事を同時に施工したいと考えている。



本荘公民館と旧JA倉庫

小学校 児童数一覧		H25.5.1現在
学校名	児童数	
芦原小学校	289人	
北潟小学校	50人	
波松小学校	20人	
新郷小学校	39人	
本荘小学校	116人	
金津小学校	568人	
細呂木小学校	95人	
伊井小学校	84人	
吉崎小学校	16人	
金津東小学校	142人	
合計	1,419人	

◎議案外

教育委員会から、あわら市小学校適正規模・適正配置基本指針についての報告があった。

市内小学校の児童数については、平成15年度をピークに年々減少し、現在は400人以上減少している。今後5年間でさらに約170人近くが減少するので、適正な学校規模を実現するため、

見直しが必要となってくる。

喫緊の対策として、複式学級の解消を早急に図りたい、という内容のものであった。

委員からは、少人数の学校を望む保護者もいる。教育委員会として、子供たちのために何が良いかを理解してもらうよう求める意見が出された。

厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

**平成25年度
一般会計補正予算**

■農林水産課

農道保全

対策事業負担金

2千500万円

委員フルツライン法面のモルタル吹き付けに亀裂が発生しており、交通安全のための補修工事であるが、事業費1億円に對する市の負担率は検討したのか。

理事者市から要望した事業である。内容等は詳細設計を行った県より十分説明を受け、不明な点はチェックしていく。

■観光商工課

北陸新幹線

開業対策事業委託料

535万5千円



漫画「ちはやふる」

委員プロモーションビデオの着手金として300万円予算化しているが、全体の事業費はいくらになるのか。また、看板の設置とは。

理事者プロモーションビデオは、他自治体の実績が750万円であり、そのあたりを想定している。また、芦原温泉駅看板設置事業99万8千円は、あわら市ゆかりの漫

画「ちはやふる」を観光素材として、JR芦原温泉駅構内に設置するものである。

**企業立地助成金
1億8千500万円**
委員 助成金額の見直し時期が来ているのではないかと。
理事者 助成金が増加しており、ゆくゆくは改正も視野に入れているが、坂井市とも競合している部分があり、助成金を下げられない状況である。

芦原温泉水道 財産区水道事業 会計補正予算

委員 6月を除くすべての月で前年度を下回り、給水収益667万円を減額するものであるが、将来の事業収支はどうなるのか。
管理者 26年度の給水動向を見ながら、料金の見直しの検討も考えている。

産業団地整備事業 特別会計補正 予算

委員 古屋石塚テクノパークにおいて、砕石を敷きならし、防砂対策を実施するものであるが、防砂対策の面積が少なく、効果が薄いのではないのか。
理事者 金額の問題もあり、草等を伸ばして対応していく。

「セントピアあわら」の指定管理者の指定について

委員 公募による選定の結果、(株)コーワを指定管理者として指定するものであるが、選定結果で判断すると利益追求に重点を置き選定したのではないかと。

理事者 選定は公募者の提案を各選定員が評価したものである。
委員 管理運営が不適当と判断した場合、契約を解除できるのか。
理事者 契約解除については、公募要項の中にも記載しており、契約書の中にも盛り込む。

委員 職員の地元雇用と、財団法人時代からの職員5名の今後の雇用はどうなるのか。
理事者 (株)コーワが管理する5年間については、雇用をお願いしている。

委員 財団時代から携わっており、愛着もあるはずであり、財団の管理が終わった時点で、市の職員として採用すべきであったのではないかと、今後5年後以降においても、職員の身分の保証を強く要望する。

行政視察 報告

10月16日～18日の日程で行政視察を行いました

総務文教常任 委員会

新潟県燕市の「イキイキまちづくり支援事業」は、公益的な市民活動の活性化を図るために、行政と協働でまちづくりを進める団体を育成する事業です。最大で4回の助成金を受けることができ、助成を受けた団体のほとんどが継続して事業を進めていました。事業完了時の成果報告会も実施しており、団体の意欲向上や、継続性を高めるための工夫がされていると感じました。

次に、福島県いわき市で「災害に對しての議会・議員の役割と対応」について視察しました。いわき市は、先の東日本大震災において甚大な被害がありました。地震

発生時に住民が行政機関に最も求めたものは、何よりも「情報」とのこと。行政の動きが市民に伝わらなければ、市民は状況判断できず、不安や不満が募る結果になる。

行政と市民との相互信頼関係と連携が十分に機能しなかったとのこと。あわら市においても、情報伝達について、あらゆる手段を駆使し、2重3重の準備を行うべきだと感じました。

最後に、津波による被災地等を視察しました。現地ガイドから様々な話を伺い、心に響いたことがありました。一番の

減災対策は、小さな集団において避難指示の適切な判断ができるリーダーを一人でも多く増やすこと。そのためには、ワークショップや話をする場を設定するなど小さなことを行えばよい。人づくりを行い、そのことが「まちづくり」につながり、それが「復興」になると語られていました。



福島県いわき市 浜風商店街

厚生経済 常任委員会

静岡県掛川市の新ごみ減量大作戦について視察しました。掛川市では一人一日あたりの燃えるごみ排出量の目標値を設定し、平成18年より5年間、事業を行いました。目標達成のため、約600人の市民がクリーン推進委員として各地域で活躍しており、排出マナー等に関する啓発指導や不法投棄、不正出荷等の連絡等を行っていました。

これらが着実に実を結び、平成22、23年度と2年連続で「ごみ減量日本一」という素晴らしい実績を達成していました。次に、静岡県伊豆市の定住化プロジェクト事業を視察しました。

伊豆市は人口減少が激しく、若年層と出生数が特に減少していることでした。そこで、若い方がUターン等で転入するよう、持ち家を持つための支援として、伊豆市若者定住化促進住宅補助金制度を創設しました。実績として3年間で、市内134人、市外97人が定住したとのことでした。

課題として、若者に定住してもらうには、住宅の確保だけでなく、働く場所の確保も大切であるとのことでした。

最後に沼津市の子育て支援事業について視察しました。沼津市は山間部から海岸部まで市内が広域であることと、移動が難しい



駅周辺の商業ビル内にある沼津つ子ふれあいセンター

決算審査特別委員会

■総務課

行政連絡員

行政連絡員(区長)の仕事が増大しており、区によっては成り手が無い状況です。市役所からの各種依頼については、総務課で調整・整理し、削減するよう検討を求めました。

■政策課

市民活動サポート 助成金事業

過去に助成した団体に継続的な活動がみられない事例があり、団体継続のためにも、3カ年程度継続的に助成してはどうかと事業の変更を要望しました。

■監理課

借地料

借地料金については、

毎年8千600万円余りを支出しています。長期契約を行っているものが多く、過去の経緯等もあり、地権者の同意は難しいと思うが、地価が下落していることもあり、今後も継続的に削減を努力するよう求めました。

■市民生活課

乗合タクシー

運行時間の延長や、日曜日の運行について検討を要望したところ、理事者からは新幹線金沢開業に向けて、観光客に対応すべく日曜日の運行を検討中との事で、実現に向けての努力を求めました。

■健康長寿課

健康長寿祭

参加率が25・5%と低調な状況であり、現在はト

リムパークで、旧町単位で実施しているが、各公民館単位での開催も検討するよう求めました。



健康長寿祭の様子

■農林水産課

フルーツラインの管理

現在は、シルバー人材センターへ年一回草刈りを委託しているが、管理が不十分である。観光道路でもあり、地元からボランティア清掃協力の話もあるとの事で、今後は市と地元が協議して景観美化を保つよう要望しま

■観光商工課

藤野殿九郎記念館

あわら温泉湯のまち広場の藤野殿九郎記念館は、観光協会に指定管理している状況です。来場者数が少ないので、年に数回は特別展を開く等イベントを行ない、集客に力を入れるよう指導を求めました。

■教育総務課

スクールバス 協力金

中学生はスクールバス協力金を徴収していますが、小学生は無料です。過去の学校統廃合の措置が現在まで継続されているが、今後は、整合性が取れるよう、協力金の在り方を検討するよう求めました。

■スポーツ課

市民スポーツ大会

現在開催しているスポーツ大会は、合併以来ずっと同じ競技を行っており、今後は公平に競技種目を変えて実施すべきとの意見が出されました。

■建設課

公園の管理

クレヨンランドかなづの管理状況が悪いいため、今後は指定管理料の関係もあるが、契約内容も含めて管理指導の徹底を求めました。

■文化学習課

北潟湖畔観月の夕べ

現在のイベントは、月を観るものではなく、花火がメインになっています。観光誘客のために行うなら、観光商工課に所管を置き、早めに旅行代理店など関係機関に周知を行い、積極的に誘客すべきとの意見が出されました。

環境対策調査特別委員会

先の9月定例会で市民の健全な生活環境を守り、自然環境を適正に保全するため、総合的な環境対策に関する調査することを目的に設置しました。その第1回目の委員会を11月27日に開催しました。

まず、土砂等採取に係る現状について担当より説明を受けました。委員からは、無許可で土砂採取を行った業者について質問が集中し、許可や指導は県が行っているが、市も県と連携をとり、早急に原状回復させるべきであるとの要請を行いました。

次に、廃棄物処理施設の状態及び不法投棄防止パトロールの結果について説明を受けました。

委員から、業者が産業廃棄物を処分しているが、処分方法が適正であるか確認をすべきである。マニフェスト(産業廃棄物管理票)を確認し、処分方法を追跡するべきである



坂井健康福祉センターでの研修

との意見がありました。また、市内には廃業した業者が残った産廃がそのまま残されている場所があり、県と連携し何か良い方法を検討してほしいとの意見も出されました。廃棄物関係の知識習得を目的に、坂井健康福祉

センターに出向き、産業廃棄物の処理について、及び許可事業者等への指導を研修しました。最後に、委員会として現場を把握する必要があるため、今後、管内視察を実施することに決定しました。

市街地活性化調査特別委員会

当委員会は、北陸新幹線開業を見据えたまちづくりを踏まえ、JR芦原温泉駅周辺整備とあわら湯のまち駅周辺整備及び空き店舗、空き家対策等、市街地の活性化対策について、あらゆる角度から調査、研究を行うため、9月定例会で設置したものであります。その第1回目の委員会を11月11日に開催しました。

最初にJR芦原温泉駅周辺の整備として、北陸新幹線関連の整備事業及び金津本陣にぎわいプロジェクトの説明を受けました。次にあわら温泉街の整備として、観光まちなみ魅力アップ事業の進捗状況、現在の計画について説明を受けました。

その後、今後の委員会の進め方について協議しました。

金津本陣にぎわいプロジェクト及び観光まちなみ魅力アップ事業は、既に

事業がスタートしており、予算化されている事業もあります。

委員からは、常任委員会との兼ね合いがあり、協議が難しい面がある。よって、事業化が目前に迫っているような事項

は、特別委員会で協議したことを常任委員会に提示するよう形にすべきとの意見がありました。

また、この特別委員会は、ごく限られた中心部のみを検討するのではなく、市全体を見据え、バランスのとれた街づくりを協議すべきであるとの意見もありました。

当特別委員会は冒頭で



市道田中々舟津線の計画図

も述べたように、北陸新幹線関連の大型プロジェクトを検討する非常に大切な委員会だと認識しております。慎重審議を重ね、あわら市の将来が少しでも良い方向に向くよう努力したいと考えております。

市政について問う

12月の定例会では、6名の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

■毛利 純雄 議員

- 水田農業対策について

■卯目 ひろみ 議員

- 男女共同参画について

■平野 時夫 議員

- 障がい者の自立・就労支援の取り組みについて

■山田 重喜 議員

- 各種事業の外部評価導入について
- 福井国体開催に向けたあわら市の対応について

■山川 知一郎 議員

- 図書館の充実とサービス拡大を
- 金津本陣にぎわいづくりプロジェクトの進行状況について

■山本 篤 議員

- 観光事業に対する委託について
- セントピアあわらの運営について
- 公民館建設に伴う防災教育の拠点づくりについて



山田 重喜 議員

外部評価を 導入する考えは

山田 法令義務付け等以外の事業の費用対効果は、どうなっているのか。また、外部評価導入に対する市長の考えは。

事務事業の評価、複数の事務事業で構成する36の政策評価を行っています。大きな事業費を要しながら成果指標が思わしくない個別事業などについては、縮小、廃止を検討しながら、「計画、実行、評価、改善の循環」の確立に努めているところです。外部評価については、国や一部の自治体で行われた事業仕分けの意味合いが強くなり、現時点での導入は考えていません。

福井国体に 向けた対応は

山田 市の受け入れ体制、競技種目の施設整備はどうなっているのか。また、観光PRとあわら温泉誘客対応をどう考えているのか。

市長 来年度にはスポーツ課内に「国体準備室」を設置し専任職員を



カヌースプリント競技

配置するなど、国体開催に向けた準備体制を整える予定です。カヌースプリント競技では、北潟湖での仮設の競技施設となるため地元関係者とその設営等に関して、密に協議しながら準備する予定です。なお、国体終了時における力又一仮施設は、県、地元等と協議しながら対応したいと考えています。観光PRについては、多くの選手、役員、観客が訪れることから、あわら市を全国にアピールする絶好の機会と捉えており、観光関係者のみならず、市民を挙げての「おもてなし」の気運を醸成していきたいと考えています。



山川 知一郎 議員

図書館の充実と サービス拡大を

山川 図書館の閉館時間を以前のようには午後6時30分にすべきではないか。

また、金津図書館の駐車場が狭く、対策が必要ではないか。さらに、市民の声を聞きながら、図書購入予算の増額、郷土資料や行政資料の充実を図るべきではないか。

教育部長

金津図書館では、これまで休日であった祝日や第3日曜日も開館するなど、利用しやすい運営に努めています。閉館時間の延長や駐車場の確保については、



JR芦原温泉駅前の「にぎわい交流広場」

金津本陣にぎわい づくりプロジェクト の抜本的見直しを

山川 「にぎわい交流広場」と「本陣飾り物展示

施設」の整備について、地元住民は賛成しているのか。また、JR駅前全体の整備計画と整合性がないのではないかと。職員体制の強化も含めて検討します。図書購入予算は現在600万円弱ですが、金津図書館の利用者が昨年の2倍に増えているので、利用者の要望を聞きながら、予算増額を検討します。

総務部長

施設の整備について、地元関係者の意見集約に予想以上の時間がかかり、予定通りには進んでいません。「にぎわい交流広場」の整備は来年度になる予定ですが、駅周辺の賑わい創出のために、必要不可欠なものと考えています。



山本 篤 議員

観光事業に対する 委託について

山本 どうして、観光協会へ委託しているのか。また、観光協会の職員は長期雇用すべきではないか。

市長 行政と市観光協会が協議して進めており、契約にかかる仕様書については、観光協会の独自性を盛り込めるような幅広い弾力性を持たせており、観光協会が受託したのちは、さらに詳細な業務契約を結んで事務を執行しております。

将来的には、観光協会の事務局長の民間登用

セントピアあわら の運営について

山本 指定管理以外の方法は考えなかったのか。

総務部長 ピーク時から減少したとわかっていても年間約18万人が訪れるこの施設は、観光都市あわらの中核施設であり、温泉文化施設としてあわら温泉になくてはならない施設です。このため、施設の廃止や譲渡は、一切考えておりません。

指定管理者の公募によって、市民の意見を踏まえた効果的な施設運営が行われるとともに、市が進める「温泉情緒あ

ふれる華やぎのまちづくり事業」のハード事業やソフト事業とも有機的に連携しながら、民間ならではの柔軟な発想による事業が展開されることを期待しております。

公民館を 防災教育の拠点に

山本 公民館を地域の拠点として活用すべきではないか。

教育長 近年では、各地区の公民館を地域の防災教育の拠点として、コミュニティ化を有するところも出てきており、公民館の運営に市民の意見を反映させるため、平成25年度に公民館運営審議会を設置しました。

委員の意見を拝聴するとともに防災担当課と協議しながら、公民館のあり方について、検討していきます。



毛利 純雄 議員

緑肥特栽米に対し10
アール当たり3千円か
ら7千円を補助している。
坂井市並みの補助をす
る考えはないか。

水田農業対策に CSN

毛利 政府は、コメ
政策を大きく転換し、
生産調整（減反）を、
5年後をめどに廃止す
ることや、補助金を見
直す新たな政策を決定
し、コメ政策見直し関
連法案を今年の通常国
会に提出する考えを示
している。農業者は大
きな不安を抱いており、
農業者が安心して営農
ができるよう、将来展
望が見通せる政策実現
を国に対し強く要請す
べきではないか。



田植えの様子

経済産業部長 国に

対しては、全国市長会か
らの政策提言という形
で、農林水産業の持続的
発展と長期的な安定を
図るため、地域の特性や
実情を反映し、農業者や
自治体の意見を十分に
尊重することや、農業者
が安心して農業に取り
組むことができるよう要
請しています。

また、坂井市の場合、
市の単独補助として、
転作団地化や周年作、

市としても、県に対
し、米の安定供給に向
け、国が責任を持って関

与することや地域の裁
量で活用可能な産地交
付金を十分に確保する
よう要望を行っていきま
す。

また、転作等に対する
市独自の補助について
は、平成18年度まで交付
を行っていましたが、19
年度に「農地・水・環境保
全支援事業」が創設さ
れ、集落において農地や
景観を守り、農村集落の
再構築を目指す農業施
策であることから、市の
助成をこの事業の推進
に置き換えをしました。

26年度からは新たに
日本型直接支払による
支援が創設されますが、
今後、農業収入の急激な
変動への対応等が必要と
なった場合には、市にお
いても何らかの措置を検
討する必要がありますと考
えています。



卯目 ひろみ 議員

男女共同参画に CSN

卯目 男女共同参画
の取り組みと成果は、
また、地域（町内会）
の運営に女性の参画が
少ないと思うがどうか。
さらに、子育て、介
護など仕事と家庭の両
立に悩む女性
も多いが、相
談体制は充実
しているのか。

定し、その実施状況を
ホームページで公表しな
がら取り組みを進めてい
ます。

地域では昔からの習
慣しきたりが根強いこ
とが最大の要因であると
認識しています。

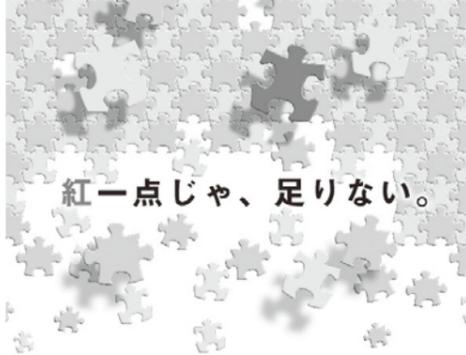
相談内容は、DV（家
庭内暴力）関連が多くな
っています。

今後、各団体とも連
携を図りながら啓発活
動を推進していきたいと
考えています。

相談体制については、
総務課・男女共同参画室
内に、「女性支援セン
ター」を設置し、相談内
容に応じて窓口を紹介
するシステムとなってい
ます。

意欲を育てることが大
切であり、道徳の授業を
中心とした、心の教育と
「生き方の指導」を行う
人権教育に取り組んでい
ます。

市長 平成
17年度に策定
したプランの
中で、特に10
項目の重点目
標に沿った具
体的施策を設



平成25年度
男女共同参画週間
6月23日(日)～29日(土)
平成25年度男女共同参画週間ポスター

平野 時夫 議員



障がい者雇用の 状況について

平野 障がい者の法
定雇用率が定められて
いるが、あわらし市役所の
状況はどうなっているの
か。

がいの割合が、法定雇
用率以上になるよう義
務付けており、国、地方
公共団体等における障
がい者の法定雇用率は、
本年4月1日より2.3%
に引き上げられました。
平成25年6月1日現在、
本市が雇用している
障がい者は、正規職員が
1人、臨時職員が5人の
計6人であり、法定雇用
障がい者数を達成してい
ます。

また、障がい者雇用計
画については、現段階で
は明確に定めていません
が、今後も、法定雇用率
の引き上げが予想され
ることから、臨時職員を
含めた障がい者の雇用に
ついて、ハローワークな
ど関係機関と連携を図
りながら、さらに積極的
に障がい者雇用枠の拡
大に努めたいと考えてい
ます。

総務部長 「障がい
者の雇用の促進等に関
する法律」では、従業員
50人以上を雇用する事
業主に対して、その雇用
する労働者に占める障



平成25年度障害者雇用支援月間ポスター

討 論

公の施設(セントピア)の指定管理者の指定

反対

セントピアあわらしは公衆浴場という機能の他に、コミュニティ施設という機能も有している。セントピアは今後、誘客に伴うソフト事業の展開に欠かせない施設である。そのような機能を考えず、選考したのは間違いである。

また、セントピアの職員は、2年前に観光協会の職員となり、サービス向上に努力し、その結果入浴客が増加し、利益剰余金も増えている。

しかし、このようなことは全く今回の選考では評価されていない。職員の努力を認めるべきで、これからの職員の身分保障もすべきではないのか。

今回の入札(プロポーザルコンペ)において、(株)コーワが最も安い指定管理料を提示したわけではないのに、金額以外の面を考慮し、(株)コーワに決定したとの事である。

しかし、近隣の(株)コーワが指定管理者となって運営している入浴施設は、サービスが低下しており、利益追求に走る懸念がある。

また、(株)コーワは県の公安委員会の行政処分を受けており、このような業者を指定すべきではない。

よって、より詳細に、「セントピアあわらし」の機能を再認識し、公募のやり直し、審査採点方法も見直し、指定管理者選考のやり直しを求める。

※4人の議員が反対討論を行っていますので、4人の要約として記載しています。

平成25年12月 第68回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

Table with columns for council members (e.g., 杉田剛, 東川継央, 山川豊) and rows for various council proposals (e.g., 平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定について, TPP交渉並びに総合的な水田農業政策の確立に関する意見書).

討論 平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定について

現在の自衛隊は、憲法9条の範囲を大きく逸脱し、世界中で軍事行動を展開できるようにするという断じて許されない。...

自衛隊は海外で軍事活動ではなく、支援活動を行っており、このことは先進国の役目である。また、自民党は自衛隊を国防軍にしているが、北朝鮮の脅威や領土問題で中国とトラブルがあり、ただ守るだけという立場ではなく、もう少しレベルアップするためには、国防軍が必要ではないかと考える。

請願・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができる。

フリーゲージトレイン(FGT)を導入せず、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための請願

FGT導入は、暫定的な在来線への接続方法とされているが、長期に渡り固定化される恐れがある。また、県民が大阪・名古屋へ行く場合、僅かな時間短縮は見込めるが、料金の大幅アップも考えられる。

要支援者を介護予防給付から外すことに反対の意見書提出についての請願

国は、介護保険で「要支援」と認定された高齢者を保険給付から外し、市町村が実施する「新しい地域支援事業」に移行する方針である。このことは、自治体の介護保険財政やサービスの内容等に悪影響を及ぼしかねない。

TPP交渉からの撤退を要求する請願

TPPは農林漁業、食の安全、医療制度など国民生活に広く影響を及ぼし、ISD条項は国家主権を揺るがしかねない重大な問題を含んでいる。このまま交渉を続けても国益を守る保障はない。

子ども・子育て支援新制度をすべての幼い子どもの育ちを支える制度とするための意見書提出についての請願

子ども・子育て支援新制度「は就労を基本に保育の必要性と必要量を認定し、保護者に対して直接補助をするものである。そのことにより、子ども保育に格差が生じ、保育環境が悪化することが心配される。

TPP交渉ならびに総合的な水田農業政策の確立に関する請願

現在行っているTPP交渉は十分な情報が開示されず、現場では不安と不満が高まっている。農林水産分野の重要5品目の聖域が確保できないと判断した場合は、交渉から脱退すること。

提出者 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一
福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

議会議日誌

おもな会議のみ掲載

9月24日	広報編集特別委員会
25日	決算審査特別委員会
(以下9月30日、10月2日、4日、7日、15日、22日開催)	
27日	広報編集特別委員会
10月3日	広報編集特別委員会
16日	総務文教常任委員会行政視察(18日)
28日	厚生経済常任委員会行政視察(18日)
29日	議会報告会
30日	議会報告会
11月11日	市街地活性化特別委員会
12日	議会活性化特別委員会
25日	議会運営委員会
26日	全員協議会
27日	環境対策調査特別委員会
12月3日	第68回議会定例会 開会
9日	第68回議会定例会(一般質問)
10日	広報編集特別委員会
11日	総務文教常任委員会
12日	総務文教常任委員会
13日	厚生経済常任委員会
18日	厚生経済常任委員会
19日	議会運営委員会
	全員協議会
	第68回議会定例会 閉会

ふるさと探訪 「二万堂」

北潟湖畔荘から花菖蒲園に向かい、歩み進めてほどなく、右手にひっそりと祀られています。

「二万堂」という祠(ほこら)は、昔、源氏と平家が北潟湖畔の“えんまいし”(「弓矢瀬」がなまったもの)と“くらさき”(倉崎)という地で戦い、劣勢の平家軍は“らんば”(乱場)まで追い込まれました。そこで両軍入り乱れての激しい戦いとなり、多数の死者がでました。哀れんだ地元の人々は、二万人余りの死者を埋葬し、供養のためこの地蔵を建てたと伝えられています。

死者の数からこの地蔵堂を二万堂と呼び、現在の字名にもなっています。この場所には過去2、3度来ていますが、今回、地元漁師さんからの情報で、改めて探訪しました。静かなる湖畔のほとりて、遥か昔の「兵どもが夢の跡」がこの地にあったとは……合掌。(平野)



編集後記

あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで新しい年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

12月議会が終わって年末年始の慌ただしい中、12月は年末まで、新年は6日から、編集委員一同、四苦八苦ししながら、市民の皆様により議会への関心を持っていただきたいとの思いで編集作業に当たり、なんとか発行することができました。

今年は、合併により市となつて丸10年、少子高齢化が進む中で、小学校の統廃合も避けられない状況ですが、これからのあわら市の進むべき方向について、市民のみなさんの中で活発な議論が展開されることを願っています。

この「議会だより」がそのために少しでも役に立てば幸いです。

(山川知一郎)

編集・発行責任者

議長 笹原幸信

市議会広報編集特別委員会

委員長 坪田正武

副委員長 山川知一郎

委員 山本篤郎

委員 平野時夫

委員 毛利純喜

委員 山田重喜

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

AWARA
あわら市